2024/03/31

外来機能報告可視化ツール（R4･R5年度病床機能報告）

Outpatient Function Report Analysis Dashboard 解説書
（OFuRAsh：アフラッシュ）

会員番号：7032　小塩　誠

【本ツールの目的】

本ツールは、外来機能報告（R4・R5年度）において、全国の外来機能報告で得られる経営戦略立案上、重要なデータに絞り可視化を行うものである。

【本ツール開発の動機】

・外来機能報告は、多種多様なデータが格納されているが、外来機能報告でしか得られず、かつ、経営戦略上の重要ファクターのみに絞ったものをパラメーターとして選定。
・とりわけ、今回は①救急患者（救急車搬送及び休日・時間外）、②在宅患者（在宅時医学総合管理料及び施設入居時医学総合管理料）の算定件数、の可視化を行った。これにより、これまで”病床機能報告”では得られなかった、”救急医療”と”在宅医療”の役割をピンポイントで瞬時に概要を掴むことができる。本ツールの特徴は、ピンポイントである。他にいろいろと見れるものはあるが、シンプルに今、新地域医療構想を踏まえて、自院の立ち位置を知る上で、重要でかつ、これまで把握出来なかった重要ファクターに着目したものである。

【本ツールの愛称】

・ノウハウを惜しみなく会員に広く提供することから、会員から重宝され、愛されるツールであってほしいという願いがある。
・そのため、本ツール機能を略し、呼びやすく、覚えやすいものを考案し、以下のように命名した。

Outpatient Function Report Analysis Dashboard
（OFuRAsh：アフラッシュ）

【本ツールと留意点と課題】

・本ツールは、あくまでもピンポイントに救急医療機能と在宅医療機能を代表的な指標で把握しようとするものである。
・本来であれば、他の指標も散りばめることは可能であるが、視点が散漫となるため、他の分析に関しては、確実で本データを参考に、思考を巡らして頂くことを期待するものである。

データ名概要	データ名	出所	参照先
外来機能報告	・R4_2022 ・R5_2023	出典：厚労省　外来機能報告について	URL：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000095525_00013.html

・R5年度で追加された項目をR4年度のDBに追加して連結。
・同じ列項目で同データーブルにて比較検討可能。

ーContentsー

１．QQ▶救急車搬送数、シェア率ランキング。
２．休日時間外▶休日・時間外患者数、シェア率ランキング。
３．　QQ・休時外クロス▶上記のクロスの散布図
４．在宅▶在医総管・施医総管の合計のランキング

外来機能報告Dashboard

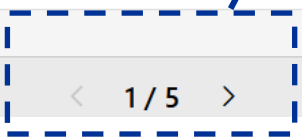
Outpatient Function Report Analysis Dashboard

（OFuRAsh：アフラッシュ）

intro | QQ | 休日・時間外 | QQ・休時外クロス | 在宅

収載データベース年度
・R4_2022
・R5_2023
出典：厚労省　外来機能報告について
URL：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000095525_00013.html

次のページへ

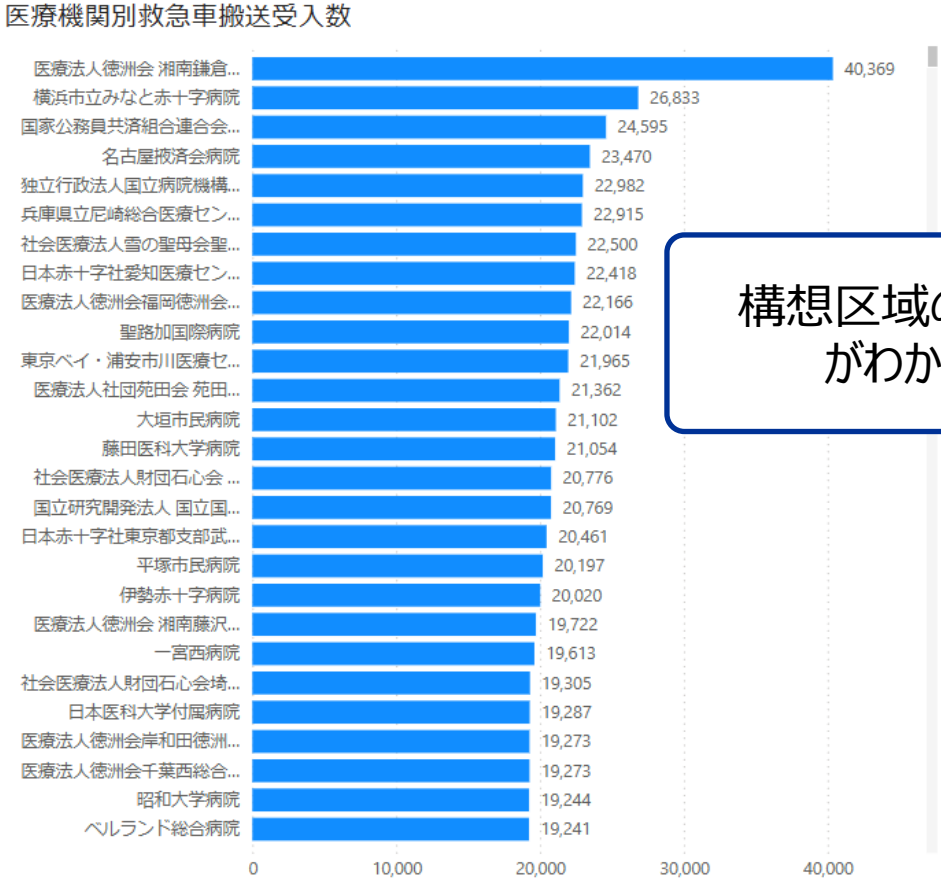


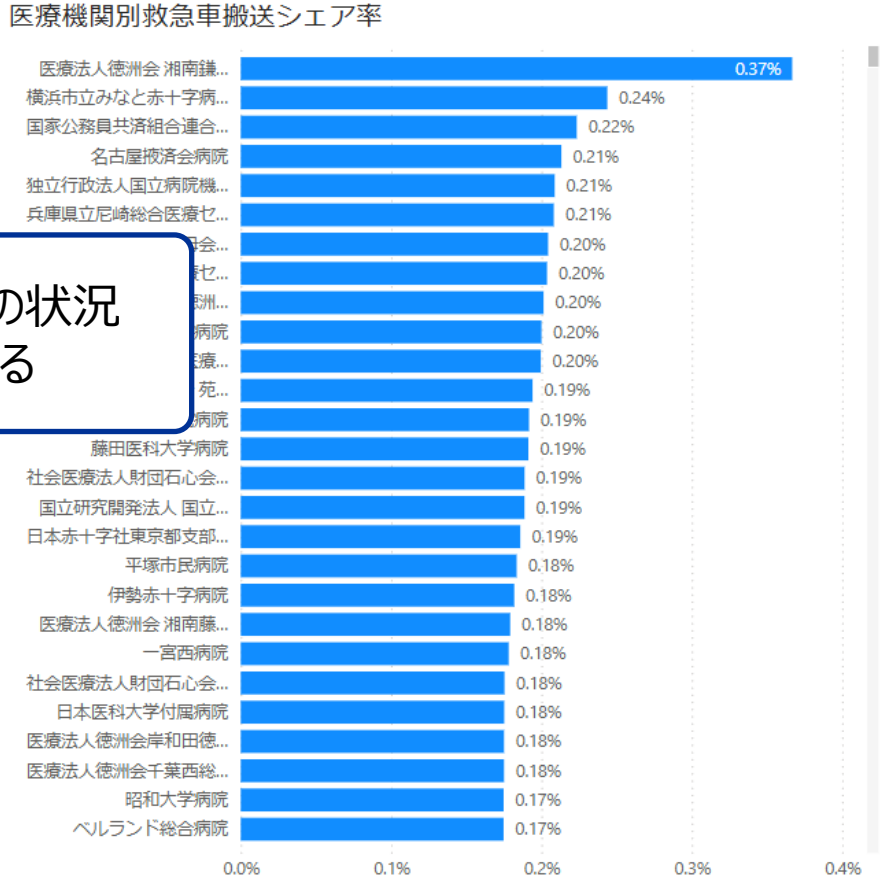
操作方法概要

プルダウンで選択

病診区分: すべて
都道府県CN: すべて
二次医療圏CN: すべて
構想区域CN: すべて
市町村CN: すべて
年度: 2023

構想区域の状況がわかる





2 / 5

https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNjE5MDU5NjktNWFhNy00ZGZjLWIxY2ItNzQ3MGY1NmI0ZGE5IiwidCI6Ijg1NGYxOTQzLWExZTYtNGVjNS1hN2VhLTg5Nzk4YWJiYzUzYyJ9